

江東区 洪水 ハザードマップ

荒川の堤防が決壊したときの
災害避難地図(想定し得る最大規模)

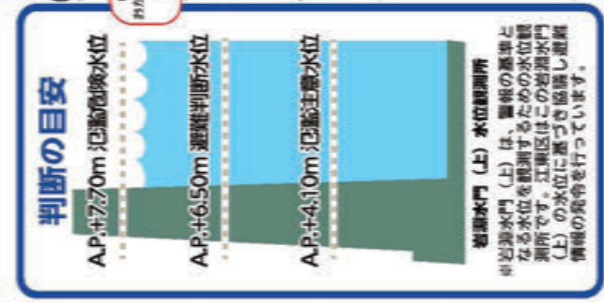
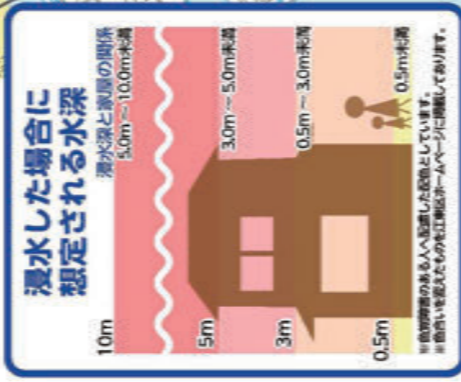
保存版

避難に関する情報

江東区は、荒川の水位、上流の雨、今後の台風の発達しについて検
別し、警戒レベルに応じて取るべき行動を以下のとおり発表します。

警戒レベル5 緊急安全確保	災害が発生又は迫っている状況です。 命を守るための最善の行動をとります。
警戒レベル4 避難指示	警戒レベル4までに必ず避難し、 速やかに避難先へ避難します。
警戒レベル3 高齢者等避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、 乳幼児など)とその他の支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避 難行動を確認しましょう。
警戒レベル1 早期注意喚起	災害への心構えを高めます。

※「警戒レベル5相当、警戒レベル4相当、警戒レベル3相当」など、
この「相当」が付く情報は江東区が発出したものではなく、水位や、
警戒レベルを境に「マスコミ」などが発信しているものです。「警
戒レベル」相当」という表現はあくまでも、区から必ず避難指示
などを発表するわけではなく、雨や荒川の情報を総合的に
判断し、発表します。
※洪水は台風が通過去った後に発生する場合があります。
ので、判断せず、避難準備をよく確認するようにし
てください。
※詳細は、江東区洪水高潮マップのP11-12を
ご覧ください。



凡例 (洪水)

- カメラ設置箇所
- 水位観測所
- 主要な公共施設
- 水害時、特に危険となる箇所
- 安否確認
- 避難先

「物置が高い」「水が浅い」などの
「水害が大きい」「水害が小さい」
「公園・広場」がある

安否確認となる箇所
流況が大きく、水害発生が予測す
る恐れがある区域

アンダーパス
アンダーパスとは
周辺より低く水が通まりやすい
ため注意が必要となる箇所

命を守るために
早めの避難を検討!

大量の降雨が継続することにより、荒川が氾濫
するおそれがある時は、あらかじめ浸水しない地
域の親戚、知人宅などへ避難を検討しましょう。

命を守る
緊急手段
垂直避難

ご自身の建物・最寄りの避難先
(マップに●マークがついている施設)の
想定される水深より高い場所に避難

おおよその距離と
時間を測ってみよう

1000m 歩くのに、
15分が目安です。

1000m歩くのに必要な時間は、
おおよそ15分が目安です。また
し、道路の状況や、ご自身の体力
により、さらに距離が変動する
可能性があります。自分自身の体力を
持つ距離をのりかえましょう。

荒川水系
荒川洪水浸水想定区域図
(想定最大規模)

作成主体 : 国土交通省関東地方整備局
荒川下流河川事務所
指定年月日 : 平成28年5月30日
対象とした降雨
荒川流域の72時間総雨量 632mm

江東区では、現在洪水、内水、高潮の3種のハザードマップと、
水害時の避難に関する情報や、江東区の治水対策の歴史や洪
水氾濫、高潮氾濫のメカニズムなどを掲載している「江東区洪
水高潮マップ」を公開しています。
また、これらハザードマップの情報を音声版として「江東区音
声版水害ハザードマップ」に収録しています。合わせてご参考
ください。

江東区音声版
水害ハザードマップ
水害ハザードマップ
(洪水、内水、高潮)
洪水高潮マップ



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都幅員 2,500分の1 地形図を利用して作成したものである。(承認番号) 31 都市圏交通圏 160 号、(承認番号) 31 都市圏交通圏 216 号